



せたがや区議会だより

No.257

平成28年(2016年)11月19日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

http://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html

平成27年度決算を認定 第3回 定例会

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会では、27年度決算5件を認定しました。また、区長からこのほかに32件、議員から53件の案件が提出され、議員提出議案1件を賛成少数で否決し、そのほかの全ての議案は可決しました。

●27年度各会計決算の認定 5件

○一般会計
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○国民健康保険事業会計
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○後期高齢者医療会計
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○国民健康保険事業会計
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産



決算特別委員会での採決の様子

○介護保険事業会計

賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○中学校給食費会計
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

●28年度各会計補正予算 5件

○一般会計(第二次)
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○国民健康保険事業会計(第一次)
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○後期高齢者医療会計(第一次)
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○介護保険事業会計(第一次)
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○中学校給食費会計(第一次)
賛成多数 賛成議員 公明 民進 共産 自由 無所属
反対 共産

○補正後の予算額は次のとおり。
一般会計 二九三億二九六五万二千円
国保会計 九六四億九一七九万五千円
介護会計 二〇一億七四三六万三千円
給食会計 六〇二億二二二万四千円
給食会計 一億七〇五五万五千円

●条例の改正 9件

○総合運動場条例
規則で定める場合を除き、営利目的の場合には施設の使用を承認しないことを定める。

○千歳温水プール条例
営利目的の場合には施設の使用を承認しないことを定める。

○清掃・リサイクル条例
廃棄物処理手数料及び動物死体処理手数料を改定する。

○環8沿道地区計画区域内の建築物制限条例
地区計画区域内の建築物制限条例

○地区計画区域内の建築物制限条例
以上2件は、風営法の改正に伴い、必要な規定を整備する。

○出張所設置条例
上町まちづくりセンターの位置を世田谷1-23-1に、上馬まちづくりセンターの位置を上馬4-10-17に変更する。

○地区会館条例
上馬地区会館の位置を上馬4-10-17に変更し、使用料を改定することなど。

○特定公共賃貸住宅及びファミリー住宅条例
特定公共賃貸住宅2戸をファミリー住宅に移行することなど。

○公園条例及び身近な広場条例
次のとおり、公園を新設するとともに、身近な広場を区立公園に位置づける。

○指定管理者の指定 13件

○老人保養ホーム
八億八七七六万円

○指定管理者の指定 13件

○北沢総合支所改修工事
相手方・契約金額

○工事請負契約の締結 3件

○改修
株式会社中島建設
東京支店
五億五八二五万二千円

○電気設備
米沢・由井
建設共同企業体
八億四七五八万四千円

○機械設備
大橋・大立
建設共同企業体
八億八七七六万円

○新設公園
南烏山五丁目
南烏山5-5-28

○位置づけの変更
峰松緑地
若林3-30-10

○新名称(現名称)
瀬田二丁目公園
所在地 瀬田2-8-17

施設名称 指定管理者
老人保養ホーム シタックス大新東
ふじみ荘 ヒューマンサービ
ス株式会社

○世田谷美術館
施設名称 指定管理者
世田谷美術館

○世田谷美術館
施設名称 指定管理者
世田谷美術館分館

○世田谷美術館
施設名称 指定管理者
世田谷美術館分館

○世田谷美術館
施設名称 指定管理者
世田谷美術館分館

○世田谷文学館
施設名称 指定管理者
世田谷文学館

○世田谷文学館
施設名称 指定管理者
世田谷文学館

○世田谷文化生活情報センター
施設名称 指定管理者
世田谷文化生活
情報センター

○世田谷文化生活情報センター
施設名称 指定管理者
世田谷文化生活
情報センター

○区民健康村
施設名称 指定管理者
区民健康村

○保健センター
施設名称 指定管理者
保健センター

○保健センター
施設名称 指定管理者
保健センター

○特別養護老人ホーム
施設名称 指定管理者
特別養護老人ホーム

会派名等
自民 自由民主党世田谷区議団
公明 公明党世田谷区議団
民進 世田谷民進党・社民党議団
共産 日本共産党世田谷区議団
F行 世田谷F行
希望 希望の会
生 生ねえネット
減税 減税せよ
虹 虹
SPJ SPJ
世田谷 世田谷
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為が時候のあいさつ状などは禁止されています。

9月15日及び16日の本会議では、32名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

田中 優子議員 (F行革)



外郭団体の人事に伴う懸念

質問 日常生活支援センター長に就いた人物は区長の著書出版にかわり政治的活動を続けていると思われる。センターの政治的中立性が確保できると思えない。

答弁 臆測に基づく質問に殊さら答えるのは適当でないと考えます。

被災動物ボランティア制度の周知

質問 区は災害時にペット同行避難が円滑に行われるよう被災動物ボランティアの募集を始めた。区報の効果的な活用や獣医師会との連携を図るなど、周知を工夫せよ。

答弁 周知の対象や場所を工夫しながら取り組んでいきたい。

小児高次脳機能障害への理解促進

質問 子どもの高次脳機能障害は発達障害と間違えられる例が多く、必要な支援が届きにくい。保育士、幼稚園や学校の教職員向けの研修を充実し、障害への理解を深めよ。

答弁 学校や幼稚園の管理職研修などを通じ障害への理解を深める。

岡本のぶ子議員 (公明)



視覚障害者の通勤時の安全確保

質問 障害者向けの区の移動支援事業は通勤の際には利用できない。通勤中の視覚障害者が駅ホームから転落死するという痛ましい事故が二度と起きないよう、改善せよ。

答弁 視覚障害者の移動の安全確保向上を早急に検討していく。

若年性認知症者の外出支援の充実

質問 若年性認知症の重症化を防ぐには、外出を促進することが効果的だ。若年性認知症者を区の移動支援事業の対象に加え、余暇活動や社会参加を積極的に支援せよ。

答弁 精神障害者施策の充実の観点から具体的な検討を進めていく。

ペット同行避難体制の強化

質問 熊本地震被災地の多くの避難所でペット同行避難の受け入れ体制が不十分だったと聞く。区は

各避難所のマニュアル整備や被災動物ボランティアの育成を進めよ。

答弁 積極的にペット同行避難訓練とマニュアルの整備を進める。

福田 妙美議員 (公明)



インクルーシブ教育の推進

質問 障害の有無にかかわらず一緒に学ぶインクルーシブ教育を推進するためには、教員の特別支援教育への理解が重要だ。教員への研修を充実し、理解促進を図れ。

答弁 新教育センターの中で教育課題を学べる体制づくりを目指す。

避難行動要支援者への支援の強化

質問 熊本地震の際には避難行動要支援者の被害が相次ぎ、事前準備の重要性が明白となった。区は地域での協力体制の構築を支援し、個別の支援計画の作成も進めよ。

答弁 個別支援カードなど情報を一元的に備える方策を検討する。

区内農家の畜産対策への支援

質問 区内農地でハクビシンなどに農作物が食べ荒らされる被害がふえている。捕獲後の処理費用が高額であるなど農家の負担は重い。ため、早急に支援策を講じよ。

答弁 区内農協などと連携し、実効性のある対応策を検討していく。

江口 じゅん子議員 (共産)



広報における聴覚障害者への配慮

質問 全ての聴覚障害者へ情報を保障するため、広報を工夫すべきだ。区のおしらせの内容についての字幕つき手話動画を作成し、区のホームページで配信せよ。

答弁 技術的な課題などを検討し、当事者の意見も聞きつつ研究する。

世田谷版ネウボラの体制の強化

質問 世田谷版ネウボラの実施体制を強化すべきだ。全妊婦を対象とするのにふさわしい体制となるよう、保健師と母子保健コーディネーターを増員せよ。

答弁 相談状況を検証し、母子保健コーディネーターの増員を図る。

子どもの貧困の実態調査の実施

質問 子どもの相対的貧困は見た目では判断できず、そのあらわれ方は地域の実情によって異なる。区内の子どもの相対的貧困の実態把握に向けた調査を実施せよ。

答弁 後期子ども計画策定の際の調査で把握できるよう検討を行う。

石川 ナオミ議員 (自民)



保健室への事務用パソコンの設置

質問 養護教諭が子どもとかわる時間を十分に確保するための環境整備が重要だ。事務作業を効率的に進められるよう、保健室に事務処理用パソコンを設置せよ。

答弁 セキュリティー対策や経費などの課題を踏まえ検討していく。

視覚障害者の安全確保の取り組み

質問 視覚障害者が安全に歩行できる環境を整備すべきだ。駅ホームの安全対策を求めるとともに、町なかの点字ブロックの敷設状況を点検し、必要な改善に取り組み。

答弁 区道の巡回パトロールにより点検し破損などの改善に努める。

地籍調査の着実な推進

質問 地籍調査により土地の境界などを明確にすることは、災害復旧の迅速化につながるが、区の調査進捗率は約2%と低い。大規模災害の発生に備え、着実に進めよ。

答弁 地籍調査のさらなる推進に向け、工夫や研究を行っていく。

上山 なおのり議員 (自民)



区施設における防犯対策の強化

質問 近年、公共施設内での放火や殺傷などの重大事件が全国的に多発している。実践的な不審者対応訓練などを実施し、区施設の窓口における防犯対策を強化せよ。

答弁 警察と連携し、実践的な初動対応訓練などの実施を検討する。

障害理解の促進に向けた取り組み

質問 障害者差別解消法が施行されてから5カ月たつが、社会における認知度はいまだに低い状況だ。

障害理解の促進に向け、法の周知や啓発に積極的に取り組め。

答弁 パンフレットの配布などで法の周知と障害理解の促進を図る。

ストレスチェック制度の周知徹底

質問 労働者の心の不調を防ぐため、従業員数50人以上の事業所にストレスチェックや面接指導の実施が義務づけられた。確実に実施されるよう、制度周知を徹底せよ。

答弁 産業団体と連携しながら、区内事業所への制度周知に努める。

山内 彰議員 (自民)



東京湘大会への官民協働の推進

質問 東京湘大会では、馬事公苑で馬術競技が行われる。機運の醸成や馬術競技への関心を高める取り組み、会場周辺地域のにぎわいの創出に官民協働で取り組め。

答弁 商店街と連携したイベントの開催や機運醸成などに取り組む。

区道の通称名設定のあり方

質問 区内には、愛称がつけられ地域住民に広く親しまれている区道が多く存在する。今後区道の通称名を設定する際には、愛称をそのまま通称名として設定せよ。

答弁 広く親しまれている名称などは、通称名として採用したい。

自転車通行空間の着実な整備

質問 自転車と歩行者の接触事故を防ぐには、自転車通行空間の整備が必要だ。歩行者の安全を守るため、自転車通行空間を十分に確保した道路整備を積極的に進めよ。

答弁 自転車専用通行帯などを適切に配置した道路整備を進めたい。

青空 こっじ議員 (無所属)



体験学習の経験を生かす場の拡充

質問 才能の芽を育てる体験学習は子どもの成長を育む大変重要な取り組みだ。体験学習が一層の成長につながるよう、学習内容を継続的に生かせる場を拡充せよ。

答弁 活躍できる場の創設について関係所管で連携して研究したい。

世田谷9年教育の充実

質問 世田谷9年教育は、近隣の小中学校が学び舎を構成して地域と合同で多様な活動を行うなど、大変有意義だ。児童生徒や教師、地域の声を踏まえ、充実を図れ。

答弁 小中学校合同の活動を生かしつつ、9年教育の充実を図る。

安全性を重視した基金の運用

質問 英国がEU離脱を決定するなど世界経済は不安定な状況だ。区は梅ヶ丘拠点や本庁舎の整備などに伴う巨額の財政支出を見据え、安全性を重視した基金運用を行え。

答弁 安全な保管を優先し、その中で可能な限り運用益を確保する。

すがや やすし議員 (SDP)



東京湘大会に向けた交通基盤整備

質問 東京湘大会に向け、羽田からのアクセス改善が急務だが、エイトライナー実現への課題は多い。代替策として区内の主要駅と羽田間を結ぶバス路線の拡充を図れ。

答弁 事業者と鉄道駅からの空港連絡バスの運行を粘り強く求める。

区立校の教室不足への対応

質問 環8以西の区立校では、大規模マンション建設に伴い子どもが急増し、教室不足が慢性化している。区は十分な学習環境の確保に向け、対応方法を工夫せよ。

答弁 教室が不足するおそれがある学校については適切に対応する。

新BOPの活動場所の確保

質問 大規模校の新BOPは慢性的な教室不足により活動場所が十分確保できていない状況だ。子どもが放課後に安心して過ごせるよう、現状の改善に早急に取り組め。

答弁 関係所管で連携し教室などの計画的整備にあわせて検討する。

河野 俊弘議員 (自民)



潜在する介護人材の発掘

質問 高齢化の進展を見据えた介護人材の確保が急務だ。出産や育児を理由に離職した女性の介護職

場への復帰を一層支援するなど、潜在する人材の発掘に力を注げ。

答弁 離職者の円滑な復帰に向け、区としての取り組みを充実する。

ネットいじめの防止への啓発

質問 SNSを介したいじめは表面化しにくく、保護者や学校は把握が難しい。いじめの深刻化を防ぐため、ネットいじめの存在や怖さを保護者や子どもに啓発せよ。

答弁 ネットの利便性や恐ろしさなどについて学ぶ機会を充実する。

区民意見募集に係る周知の工夫

質問 区政への区民意見を募集した際に、届く意見が少ないことが散見される。より多くの意見を得られるよう、SNSなどを活用して区民意見募集の周知を強化せよ。

答弁 より多くの意見を得られるようSNSの活用などを検討する。

そのべ せいや議員 (民進社)



情報発信の手法の工夫

質問 デジタル機器の普及を踏まえ、情報発信手法を充実すべきだ。まちなか観光や防災などに係る情報の発信に際し、民間と連携してアプリの活用を図るなど工夫せよ。

答弁 適切な情報ツールの活用についての検討を進めていく。

東京湘大会を見据えた文化の振興

質問 東京湘大会をスポーツだけではなく文化の振興にもつなげるべきだ。大会開催を見据え、区内の特色ある文化を生かしたイベントの開催などに積極的に取り組め。

答弁 多くの人が文化や芸術に触れられる環境の整備に取り組む。

東京湘大会でのボランティア確保

質問 東京湘大会では膨大なボランティア需要が見込まれており、都などとの獲得競争の激化は必至だ。馬術競技の会場を持つ区としても、人材の確保を着実に進めよ。

答弁 現在ボランティアの確保に向けた仕組みづくりを進めている。



一 般 質 問



代表質問、一般質問の様様をホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！

中村 公太郎 議員
(民進社)



区長と小池新都知事との連携

質問 小池新都知事は政策において区長との違いが多く見られる。区政の推進に当たっては都との連携が不可欠だが、区長は都知事とどのような関係を築いていくのか。
答弁 可能な限り新しい小池都政と連携をしていきたいと考える。

税外収入の確保の強化

質問 税外収入のさらなる確保に向け、土地開発公社の保有地を最大限活用すべきだ。公社の保有地を無償で借り受けて民間へ有償で貸し付ける取り組みを一層進めよ。
答弁 土地開発公社の保有地などのさらなる有効活用を努めていく。

若者による情報発信の推進

質問 若者がSNSで情報発信に取り組み「ねつせた!」は有意義な事業だが、経験不足によるトラブルも懸念される。どのようなルールに基づき活動しているのか。
答弁 過度な演出をしないことなどを定めたルールを作成している。

和田 ひまわり 議員
(自 民)



危機管理体制の強化

質問 区は水害や土砂災害に備え、避難勧告などの避難情報を発令する判断基準を策定した。適切なタイミングを捉えて発令し、十分な職員体制のもとで支援に当たれ。
答弁 区民が避難行動を適時適切に取れるよう避難体制を構築する。

道路用地取得の推進

質問 道路用地取得の推進に向け、区は用地買収交渉に外部委託を取り入れるとした。事業者任せにすることなく、地権者の協力を得られるよう誠意ある対応を徹底せよ。
答弁 地権者への丁寧な説明と対応を基本に道路事業に取り組み。

保育施設整備における区の姿勢

質問 保育待機児解消に向け区は施設整備に尽力しているが、周辺住民から反対の声があり整備がお

桃野 よしひみ 議員
(F 行 革)



国保料不納欠損額への区長の対応

質問 職員が徴収を怠り市民税徴収権を時効消滅させたため、市長個人への損害賠償請求が認められた例がある。区長は区の巨額の国保料不納欠損額の縮減に尽力せよ。
答弁 滞り整理の強化に努め、不能欠損額縮減に積極的に取り組む。

国保料に係る不適切な事務処理

質問 区は国保料の収納事務において、延滞金の徴収や還付加算金の賦課を行っていない。これらは地方自治法や条例に違反した不適切な事務処理ではないのか。
答弁 延滞金は条例上の運用であり還付加算金は条例上規定がない。

国保料事務での区矛盾した姿勢

質問 区は国保料の延滞金徴収や還付加算金賦課を行うよう都に指導された際、必要性は認識している旨を答えている。現状を適切とした議会答弁と違つていないか。
答弁 公平性や法の趣旨、経緯を踏まえ、今後の対応を検討したい。

佐藤 美樹 議員
(希 望)



官民連携のさらなる推進

質問 官民連携を進める際、政策決定の際に区が行うべきか、民間と連携・共創で行うべきかを見きわめる目安や判断基準が必要だ。事業の評価軸等と併せて取組を。
答弁 民間からの提案を受け入れる判断基準について検討を進める。

保育園の入園選考基準の見直し

質問 働き方の多様化を踏まえ、認可保育園の入園選考基準を現態に即して見直すべきだ。雇用保険に加入していない産休明けの保護者にも、点数を加算せよ。
答弁 国の働き方改革の動向などを踏まえ、慎重に検討していく。

世田谷図書館での認知症対策

質問 世田谷図書館における認知症関連コーナーの設置は評価するが、今後さらに活用すべき。認知症高齢者による幼児への読み聞かせを実施するなど、工夫を凝らす。
答弁 読み聞かせなども含め、新たな可能性を積極的に検討する。

真鍋 よしゆき 議員
(自 民)



本庁舎整備に対する副区長の見解

質問 東日本大震災が発生した際、区でも大きな揺れがあった。執務中に庁舎の被害を目の当たりにした副区長は、被害状況を踏まえた本庁舎整備に対する見解を示せ。
答弁 60枚の窓の破損被害もあり早急な整備の必要性を痛感した。

生産緑地拡大への取り組み

質問 区は生産緑地指定要領には、一度宅地などに転用した土地を再度生産緑地に指定できないなどの厳しい条件がある。生産緑地の拡大に向け、要領を見直せ。
答弁 指定の拡大に向け、早々に要領の改定に取り組んでいく。

エイトライナーの早期実現

質問 エイトライナー実現に向け、事業採算性の点から地下鉄ではなく鉄道とバスの中間の輸送力を有する輸送システムの導入を検討すべきだ。区長は率先して取り組め。
答弁 多様な技術を研究し、より早く実現可能な手法を模索する。

小泉 たま子 議員
(希 望)



地区の窓口業務の充実

質問 支所のみで総合窓口の設置を進めようとする区の姿勢は全く理解できない。超高齢社会の到来を見据え、区民にとって最も身近な地区の窓口業務こそ充実せよ。
答弁 社会動向を視野に入れ、地区での業務のあり方を検討する。

児童館に係る所管のあり方

質問 子育て支援の充実に向け、児童館が地域のさまざまな機関と密に連携できる体制を構築すべき

だ。支所に子ども部門を設置し、児童館の所管も支所に移管せよ。
答弁 支所、本庁と児童館とのかわりや所管について検討する。

社会教育の充実

質問 区の生涯学習事業は個人の学習に偏っている。人間関係が希薄化する中、区民の支え合いを支援できるよう地域生活のあり方に重点を置いた社会教育を充実せよ。
答弁 地域コミュニティの発展につながる環境整備を進める。

阿久津 皇 議員
(希 望)



消防団の活動体制強化への支援

質問 区内の消防団員の中には企業に勤務している団員も多い。消防団と区内企業や大学との連携強化を図り、平日昼間に消防団が十分活動できる体制構築を支援せよ。
答弁 消防と連携を進め、積極的に支援を行う消防団強化を図る。

迅速な証明書発行体制の構築

質問 震災時に証明書を遅滞なく交付できる体制を構築すべきだ。被災状況に応じたきめ細かな人員配置が可能なまちづくりセンターで証明書を発行せよ。
答弁 まちづくりセンターなどでの発行の実現性を検討していく。

中学校での防災教育の充実

質問 地域の防災力の強化に向け、中学生への防災教育を充実すべきだ。救命救命技術の習得などを目的とする中学生レスキュー隊を創設し、防災意識の向上につなげよ。
答弁 各学校に安全指導計画の充実を促し、防災教育の強化を図る。

高岡 じゅん子 議員
(生 産)



本庁舎整備における現庁舎の活用

質問 本庁舎整備では文化的価値がある現庁舎を活用すべきだ。特に区民自治と交流の拠点、区民参加を形にした設計思想を十分生かせるようあらゆる手法を検討せよ。
答弁 空間特質の継承のあり方は、設計者の提案をもとに決定したい。

世田谷清掃工場の対策の検討結果

質問 稼働停止を繰り返した世田谷清掃工場の、対策検討委員会最終報告が出る。安全と安心を第一とした体制構築を求めつつ、清掃一組とともに区民に周知説明せよ。
答弁 区としても区報やホームページなどに掲載して周知していく。

建築物の絶対高さ制限の見直し

質問 区は高度地区の建築物の絶対高さ制限を見直し、よりきめ細かな区分などを導入する案を示した。この規制の活用を視野に、区民と良好な住環境づくりを進めよ。
答弁 良好な建築計画の誘導に努め世田谷らしい市街地形成を図る。

おぎの けんじ 議員
(自 民)



世田谷版国土強靱化計画の策定

質問 河川や木造住宅密集地域がある世田谷は、災害のリスクを多く抱えている。最悪の被害を想定した対策を盛り込んだ世田谷版の国土強靱化計画を早急に策定せよ。
答弁 国の強靱化計画の方向性と既存の計画との整合性を点検する。

本庁舎整備での優先課題の明確化

質問 本庁舎整備では、空間特質の継承が災害対策機能などより優先されることは許されない。整備の中で優先的に取り組む課題を明確にした上で設計者選定に臨め。
答弁 災害対策機能強化を念頭に、選定時の評価の考え方を整理する。

庁舎損壊時の業務継続への対応

質問 区の業務継続計画において、被災により本庁舎が機能を失うことが想定されていない。全壊や半壊となった場合に、どのような業務を継続するつもりなのか。
答弁 代替施設の確保に努めているが、執務体制は検討課題である。

加藤 たいき 議員
(自 民)



高齢化を見据えたバス交通網充実

質問 高齢化の進展を見据え、バス交通網の充実を図るべきだ。区はバス事業者の自主運行を原則と

するのではなく、助成なども視野に、支援のあり方を柔軟に見直し。
答弁 交通不便地域対策を進める中で、手法について検討していく。

新たなバス路線の本格運行

質問 等々力操車所と梅ヶ丘駅を結ぶバス路線の実験運行は1月に終了したが、その後事業に進展がない。南北交通の充実に向け、本格運行の確実な実現に尽力せよ。
答弁 本格運行の早期実現に向け、バス事業者との協議を進めていく。

ドライブレコーダーの導入

質問 区の公用車の事故は多い。事故の抑止に向けて公用車にドライブレコーダーを設置し、区内で犯罪が発生した際には映像を警察に提供して捜査協力にもつなげよ。
答弁 年度内を目途に数台に設置し効果を検証した上でふやしたい。

中塚 さちよ 議員
(民進社)



高齢者の運転免許自主返納の促進

質問 高齢者の自動車運転中の死亡事故が多く発生している。福祉部門の窓口において、認知機能が低下した高齢者へ個別に運転免許の自主返納を促すなど、工夫せよ。
答弁 自主返納制度の案内について、関係所管で連携を図りたい。

子どもの受動喫煙防止対策の強化

質問 受動喫煙による子どもの健康被害を防ぐ取り組みは重要だ。屋内外を問わず子どもの利用が想定される場所での喫煙状況を調査し、受動喫煙防止対策を強化せよ。
答弁 関係所管で協議しつつ、現状を把握した上で対策を講じる。

働く世代の熱中症予防対策の推進

質問 高齢者だけではなく働き盛りの世代でも熱中症で命を落とす例がある。職場内への啓発ポスターの掲示を促すなど、熱中症予防に向けた取り組みを推進せよ。
答弁 区内の産業団体などと連携し、熱中症対策を進めていく。



問 質 一 般

羽田 圭二議員
(民進社)



保育園整備に伴う財政負担の軽減

質問 保育待機児解消への保育園整備は重要だが、維持運営には重い財政負担が伴う。公有地の無償貸し付けや運営費の国庫負担化など、支援充実を国や都に求めよ。

答弁 区として、国や都に政策全般についての要望を続けていく。

学校での事故に係る補償のあり方

質問 学校での事故をめぐり訴訟を起こすことは、保護者や子どもに大きな負担となる。区はこのことを十分認識し、訴訟なしでは補償を受けにくい現状を改善せよ。

答弁 可能な限り負担をかけない方法を探ってきたが苦慮している。

地区での医療と介護の連携強化

質問 高齢者の在宅生活を支える体制強化が急務だ。あんしんすこやかセンターに配置予定の地区連携医を活用し、地区での医療と介護の連携を進めて支援充実を図れ。

答弁 地区での医療と介護の多職種ネットワークづくりを進める。

津上 仁志議員
(公明)



区立公園への指定管理者制度導入

質問 区民ニーズが多様化する中、公園には機能の強化や効率的な管理運営が求められている。指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用してサービス向上を図れ。

答弁 全国の多様な事例を参考に、公園の利活用に係る研究を進める。

狭あい道路拡幅整備の推進

質問 狭あい道路の解消が急務だ。狭あい道路の後退用地への支障物件の設置に係る禁止条項を設けた杉並区と同様の条例改正や拡幅整備に係る助成の拡充に取り組み。

答弁 整備の迅速化も念頭に、新たな整備促進策を検討している。

駅的安全対策に係る総点検の実施

質問 駅ホームにおける安全対策が急務だ。内方線つき点状ブロックが有効に敷設されているかなど、

区内駅の状況を鉄道事業者や障害者と総点検し、必要な改善を図れ。

答弁 利用者にとってより安全な駅となるよう、事業者と取り組む。

ゆさ 吉宏議員
(自民)



「せたがやノミクス」の推進

質問 本庁舎整備などの巨費を伴う事業が予定される中、健全財政維持への取り組みは重要だ。官民連携を一層進め、財政基盤の強化と公共サービスの充実につなげよ。

答弁 サービスの充実などに向け、活発な連携を図れるよう努める。

都市計画道路の早急な整備

質問 首都直下地震発生が危惧される中、緊急車両の通行確保につながる道路整備を早急に進めるべきだ。区内の都市計画道路事業の都施行も含めた進捗状況を示せ。

答弁 区内全体では27区間、約10kmが事業中路線となっている。

エリアマネジメントへの支援充実

質問 二子玉川エリアマネジメントが、二子玉川公園でカフェや売店を設けるなど、地元のイベントにエリアマネが関与することに對して区が支援するのか覚悟を問う。

答弁 これまで以上にアドバイザーとしての機能を果たしていく。

上川 あや議員
(虹)



異性も介助できるトイレの増設

質問 息子が高齢の母親の車いすを押してきても、母親が障害のある息子を連れてきても、異性が介助できるトイレが殆どない役所の現状は変えるべき。早急に整備を。

答弁 トイレ改修工事の中で第2庁舎への整備の可能性を検討する。

「男性向け相談」の削除に反対

質問 区は第二次男女共同参画プラン素案から「男性相談」を消した。自殺率が女性より3倍高い男性に相談の回路を開かない区の姿勢は理不尽だ。事業手法を見直せ。

答弁 誰もが利用しやすい相談事業の充実に向け引き続き検討する。

同性カプセルにも区営住宅開放を

質問 当区より遅れて同性パートナーシップ制度を取り入れた三重県伊賀市では、すでに同性カプセルにも市営住宅申し込みの道が開かれている。区はどうか取り組むか。

答弁 条例改正も視野に人権尊重の視点から具体策の検討を深める。

大庭 正明議員
(F行革)



区長が共産党に支援要請した経緯

質問 区長が得票率67%で再選した要因は、共産党の支援を受け争点を国政批判にすりかえたことだと考える。区政に批判的だった共産党に支援要請した経緯を示せ。

答弁 政党から政策体系への理解を得て支援してもらったと考える。

補助54号線に係る見直しの真相

質問 区長選の際に区長が共産党と結んだ覚書に大型開発を優先しない旨の記述がある。補助54号線に係る優先整備路線の扱いの見直しは、支援を得る条件だったのか。

答弁 覚書は個別政策ではなく、基本的な姿勢を記したものである。

区長が示した古い区政の内容

質問 区長は区長選に当たって共産党と結んだ覚書に、古い区政には後戻りさせない旨を明記している。区長が言う古い区政とは、具体的に何を指しているのか。

答弁 区民参加や情報公開の姿勢が薄れてきた区政のことである。

あべ 力也議員
(減税)



障害者自立の為雇用促進に取組め

質問 障害者が自立した生活を営めるよう、公共施設での障害者雇用を促進すべきだ。指定管理者に障害者雇用を義務づけるべきと考えるが、技術的には可能なのか。

答弁 指定管理者の募集時に雇用を条件とすることは可能と考える。

保育財源にふるさと納税の活用

質問 ふるさと納税による歳入減への影響は看過できない状況だ。保育事業を初め、施策ごとにクラ

ウドファンディングの手法を活用して寄附を募るなど、工夫せよ。

答弁 積極的に区民参加を促す手法の一つとして検討を進めていく。

保育園入園予約を早急に導入せよ

質問 国は、ゼロ歳児期の育休終了後の保育園入園を事前に予約できる入園予約制の導入を促進する方針を示した。保育待機児解消に向け、区は導入を早急に検討せよ。

答弁 国の通知や他自治体などの動向も注視し慎重に検討を進める。

ひうち 優子議員
(世田谷)



駒沢大学駅周辺への駐輪場の増設

質問 駒沢大学駅周辺は駐輪場不足が区内で最も深刻であり、早急な整備を求めた。上馬地区会館移設後の跡地に整備を予定している駐輪場の具体的な計画を示せ。

答弁 収容台数は約400台、有人管理で24時間運営を計画している。

駐輪場の自転車ラックの改善

質問 区内の駐輪場では高低が隣り合わせになったタイプのラックが設置されている場所が多く、特に高齢者には負担が大きい。使いやすいラックに早急に入れかえよ。

答弁 利便性向上のため、既存駐輪場の効果的な改修に努める。

避難所でのWiFi容量の確保

質問 避難所となる学校などに今後WiFi環境を整備予定だ。災害時に避難所で、区民が災害情報をネットから取得できるように、WiFi容量を十分に確保せよ。

答弁 継続利用時間を制限するなど、運用面で工夫していく。

河村 みどり議員
(公明)



精神障害に特化した支援拠点整備

質問 精神障害者への支援を充実すべきだ。アウトリーチ型支援に係るネットワークの区全域への展開を図り、精神障害の相談支援に特化した総合拠点も整備せよ。

答弁 区民要望に応えるため関係機関と連携して施策充実を努める。

ヘルプマークの普及啓発

質問 外見からはわかりにくい障害のある人が必要な支援などを知らせるヘルプマークとヘルプカードの普及啓発を進めるべきだ。商店街と連携するなど、工夫せよ。

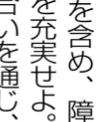
答弁 関係機関とも協議し、普及啓発の機会を拡大していく。

障害者理解を深める教育の充実

質問 幼いころから健常者と障害者が触れ合うことは障害者理解の促進につながる。区立校で障害者スポーツを通じた交流を含め、障害者理解を深める教育を充実せよ。

答弁 障害者との触れ合いを通じ、障害者理解を深める教育を進める。

中里 光夫議員
(共産)



建築物の高さ制限見直しについて

質問 平成16年に決めた建築物の絶対高さ制限45mは高すぎた。今回、地域特性に合わせ、より厳しい制限とする見直しを示したことは積極的だ。見直しの狙いは何か。

答弁 都市整備方針が目指す将来都市像の実現を図りたい。

高さ制限見直しの影響の説明を

質問 高さ制限の見直しでは、区民にどう影響が出るかが重要だ。わかりやすい地図と丁寧な説明を行う場を作る必要がある。都市計画を決める段階まで行うべき。

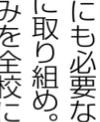
答弁 各支所と都市計画課に設置した窓口で丁寧な対応に努める。

学校図書館の司書配置について

質問 学校図書館への年間を通じて司書の配置は成果が上がっている。更に、今後は直接雇用により切り替えるべき。未配置校にも必要な支援を行い、質の向上に取り組め。

答弁 すぐれた取り組みを全校に紹介し学校図書館の充実に努める。

田中 みち子議員
(生ネ)



子どもの性的被害を防ぐ取り組み

質問 貧困や虐待など家庭に居場所がなく繁華街をさまよい歩く子どもを性的被害から守る体制が必

要だ。24時間対応の相談窓口と一時保護する宿泊施設の整備を図れ。

答弁 民間団体と連携し、子どもを見守る仕組みを検討していく。

望まない妊娠を防ぐ教育の充実

質問 若者の望まない妊娠を防ぐための教育が重要だ。男女が性差を理解し、思いやりを持って生きる権利であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの人権教育を行え。

答弁 関係機関などと連携し社会変化に応じた性教育の充実を図る。

障がい者差別解消への取り組み

質問 障がい者差別解消への取り組みの一環として、明石市は独自条例を定めて被後見人などの採用を可能とした。区も独自条例を制定し、実効性ある施策を展開せよ。

答弁 明石市の取り組みに係る調査や検討を所管に指示している。

本文中で使用している省略表記

- 保健所長 〓 世田谷保健所長
- 道路・交通部長 〓 道路・交通政策部長
- 東京2020大会 〓 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
- 支所 〓 総合支所
- 清掃一組 〓 東京二十三区清掃一
- リオ2016大会 〓 リオ2016オリンピック・パラリンピック競技大会



第52回区民スポーツまつり「キッズダンスショー」の様子(総合運動場)

27年度決算を審査するため、議長と監査委員を除く47名の全議員で構成する決算特別委員会を設置し、9月29日から10月13日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。ここでは、決算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された27年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

会派等の意見

本会議での意見表明者

- 自由民主党世田谷区議団…山口ひろこ議員
- 公明党世田谷区議団…津上 仁志議員
- 世田谷民進党…中塚さちよ議員
- 社民党区議団…中塚さちよ議員
- 日本共産党世田谷区議団…中里 光夫議員
- 無所属・世田谷行革110番…大庭 正明議員
- せたがや希望の会…阿久津 皇議員
- 生活者ネットワーク…田中みち子議員
- 世田谷区議団…あべ 力也議員
- 減税せたがや…あべ 力也議員
- リンボー世田谷…上川 あや議員
- せたがやすこやかプロジェクト…すがややすこ議員
- 世田谷無所属…ひうち優子議員
- 無所属…青空こうじ議員

20年以降もしっかりと見据え 区民のための区政を展開せよ

自由民主党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)

27年度決算に当たり、区長の区政運営への我が会派の総括は、3月に可決した「区政の停滞を招いている保坂展人区長に対し議会の存在を軽視する言動を改めること」を求める決議に集約されている。全ては区民のためにとの共通の思いがあれば、ともに歩みを進めることも否定しないが、それがないならば、いかに時間を費やしても手を携えて歩むことはできない。28年度も半年が経過した。この間、世界中ではさまざまな出来事が起り、我々を取り巻く状況は急速に変化した。中でも忘れてはならない出来事はリオ2016大会だ。連日のメダル獲得など、日本選手団の活躍は大きな感動と勇気を与えてくれた。また、ボランティアの活躍など、4年後に東京2020大会を控えた我々にとっては、運営面でも大変参考となる大会となった。

リオ2016大会が閉幕し、東京2020大会開催に向けたカウントダウンが始まっているが、この激動の半年間に区は何を行ってきたのか。大会に向けた組織改正やリオ2016大会の視察など、それなりに取り組んでいる姿勢は見受けられる。しかし、大会まで既に4年を切ったと考えるべき現状において、大会の競技会場がある自治体としての熱気や活気が全く伝わってこない。確かに、職員の誰もが経験したことのない事業であり、戸惑いが多いことは察するが、区内での米国選手団事前キャンプや馬事公苑での馬術競技の開催は決定事項だ。そもそも馬術競技の内容やルールが広く理解されているのか。また、集客力ほどの程度か。こうした疑問が浮かぶ中で区が取り組むべき事はまだまだあるはずだが、残念ながら区からはリオ2016大会での熱気を受け継ぐ活気が伝わってこない。果たして区民の期待に応える結果を残せるのか不安すら覚える。

我々も区の取り組みに疑問を唱えるだけではなく、東京2020大会の成功はもとより、区が発展を遂げるためにも知恵を絞り、尽力しなければならぬとの思いであり、そのための体制整備が必要だ。本庁舎整備に関しても改めて申し上げておく。27年の第3回定例会で本庁舎整備に係る区長の迷走を厳しく促した。あれから1年、区長は本庁舎等整備基本構想案の策定に至り、何事もなかったかのようにしているが、みずからの誤った判断により貴重な時間を失った事実を改めて肝に銘じるべきだ。誤解のないように申し上げておくが、基本構想検討委員会での議論は大変貴重なものであった。今後着実に事業執行が行われるものと職員を信頼しているが、本庁舎整備は50年、100年先を見据えた事業であり、40億円を超える巨費を要する事業だ。我が会派は、今後も指摘すべき点は指摘した上で、真摯に議論を重ね、納得でき

ない点があれば議会としての意思を何らかの形で表明することも視野に入れるべきだと考えている。区議会第一会派として、こうした考えに立ち、設計者選定委員会の設置や募集要領の策定、設計者選定などのプロセスを注視していく。

本庁舎整備に限らず、迷走もとれる将来構想の変更が目につく。世田谷支所移転構想の破綻に加え、関連する仮称新三軒茶屋分庁舎の整備に関しては、多くの会派から質疑があり、整備自体を疑問視する声さえ上がっている。さらに、児童相談所の都から区への移管について、区は山積する課題の克服に向けた具体的な戦略を示さないまま移管の方針を決定しており、現時点では都の協力ありきの見切り発車であると言わざるを得ない。時には高い目標を掲げ、職員

の士気を高めて全庁で取り組む姿勢を持つべきだ。しかし、その目標が、区長のみずからの立場や体裁を重んじるためのものであるならば、職員は疲弊し、90万に迫る区民を守ることなどできるはずもない。区民との約束である公約と議場における発言の重さに違いはない。区長が直ちに高い目標を掲げ、職員を鼓舞しながら先頭に立って進めなければならぬ事業とは、議場で自身が全力で進めると公言した道路事業であるべきだ。区長の姿勢があらわされる29年度予算の審査に向け、こうした思いを持ち一層厳しい態度で臨む決意だ。区の今後を左右すると言っても過言ではない20年が迫っている。区長や職員、我々議員は一日一日が貴重な時間であることを改めて胸に刻まなければならない。東京2020大会に向けた取り組みや本庁舎整備、道路整備に限らず全ての施策や事業が区民のためにあるとの思いを常に抱きながら、職員一人ひとりが気概を持ち、一丸となって区政を進めることを期待する。我が会派も20年とその先を見据えて区民のために邁進する覚悟だ。

将来を見据えた区政運営を行い 区民サービスの充実を図れ

公明党世田谷区議団

(全ての会計に賛成する意見)

熊本市では、震災被害からの復興のさなかであるにもかかわらず、豪雨や阿蘇山の噴火など、被災者に追い打ちをかける災害が続いている。我々は一刻も早い終息を願

い、一層の支援に注力していく。今後30年間における区施設の維持や更新に係る経費は、年平均600億円を超えるとの予測がある。社会保障経費の増大も見込まれるため、中長期的な展望を持って区政運営の道筋を示すべきだ。区税収入の大幅な増加が見込めない前提で財源を確保するには、一層の歳出削減と行政資源の効率的な再配分が必要だ。図書館や児童館などの公共施設の運営に民間活力を積極的に導入し、高齢者や障害者、子育て家庭への支援などには必要な人材や財源を効果的に投入せよ。民間との柔軟な連携を積極的に進め、いかに公共サービスの充実を図れるかが、真の自立都市世田谷の実現に向けた試金石となる。以下、我々が最重要課題と考える施策について意見を述べる。第一に、本庁舎整備についてである。現庁舎の敷地外に工事期間中の仮移設先を確保し、機能を移設した上で工事を行えば、最大の課題である工期短縮とコスト削減につながる。適地確保に尽力せよ。第二に、地域で高齢者や子育て家庭を支える体制の整備についてである。地域包括ケアシステムの推進に際し、まちづくりセンターに地域包括担当の管理職を配置し、地区の活動団体との連携強化を図れ。世田谷版ネウボラで全妊婦を確実に妊娠期間面につなげるため、民間委託も視野に訪問型面接の実施体制を確立せよ。児童相談所の

区への移管を見据え、子ども家庭支援センターを支所の課組織へ格上げして役割を明確にし、子育て支援に係る連携体制を強化せよ。

第三に、仮称新三軒茶屋分庁舎についてである。施設総量の抑制などを進めるとする区の方針とどう整合性を図るかなど、整備を進める上で検討すべき課題は多い。拙速に進めることなく、重複する機能の集約化も視野に再検討せよ。第四に、公共事業における成果指標についてである。男女共同参画センターらぶらすが行う女性の働き方支援などに係る新規事業は、民間が既に実施している。明確な成果指標を定め、事業の効果や必要性をしっかりと検証せよ。また、らぶらすの事業の多くが産業振興公社の事業と重複している。改めて機能の集約化を強く求める。第五に、幼児教育センターについてである。幼児教育に係る教職員の指導力向上や配慮を要する子どもへの支援の充実にもスピード感を持って取り組むべきだ。新教育センターの開設を待たずに、幼児教育センター機能を先行稼働せよ。最後に、危機管理対策についてである。災害発生後に復旧や復興を迅速に進めるためには、高い専門性や技術を持つ人材の確保が不可欠だ。自衛官や技術士などの任用を前提に、技監制度を導入せよ。

区民との協働を一層進め 持続可能な地域社会の発展を図れ

世田谷民進党・社民党区議団

(全ての会計に賛成する意見)

持続可能な地域社会の発展を目指す新たな視点から、再生可能エネルギーの普及や子どもの人権擁護、貧困対策などに区長が区民と協働で取り組んだことを評価する。以下、改善すべき課題を述べる。エネフェスせたがやの開催方法を工夫せよ。子育て利用券の利用

に際し、区民主体のサービスが一層提供されるよう改善せよ。防災対策事業への若者の幅広い参加を確保するための手法を検討せよ。不適切な随意契約をなくすため、チェック体制を強化せよ。公募によらずに指定管理者の選定を行う際の基準を明確化せよ。福祉施設入所者の安全安心の確保への対策を強化せよ。視覚障害者の安全確保に向け、区内駅構内の点字ブロックの点検を求め、梅ヶ丘駅周辺の点字ブロックも早急に補修せよ。整備予定の梅ヶ丘拠点に開設される障害者施設の入所基準を明確にせよ。介護人材不足の解消に努めよ。東京2020大会を見据え、馬術競技への区民の関心を高め、誰もがわかりやすい案内板の設置なども進めよ。障害者スポーツを通じて障害者理解を促進せよ。公教育の役割として貧困による格差の是正に取り組め。教員のICT活用能力向上を図れ。図書館の対面朗読室の稼働率向上と有効活用を進めよ。社会の課題を自身の問題と捉え身近なところから取り組むE.S.Dの視点に基づく教育を進めよ。予算執行率が低い住宅の耐震化や豪雨対策の取り組みの成果を適正に評価せよ。千歳烏山駅や明大前駅の駅前広場の整備に際し、荷さばきスペースを確保せよ。中小企業の支援に注力せよ。新たな産業ビジョン策定に際し、区内産業のあり方を再考せよ。教員の過重労働を改善せよ。公契約条例に基づく労働報酬下限額を引き上げよ。



27年度決算に対する



決算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継 で検索！

福祉最優先の区政運営を行い
区民の命と暮らしを守れ

— 日本共産党世田谷区議団 —

(国保会計と後期高齢者会計と介護会計には反対)
(一般会計と給食会計には賛成する意見)

区長は、27年度に住民税非課税世帯の胃がん検診を無料に戻し、不要不急な開発も削減した。過去に行われた福祉の切り捨てを見直し、自民党区政からの転換に本格的に着手したものであり評価する。

2期目の保坂区政には、区民の命と暮らしを守ることを最優先にした区政運営を一層進めることができるかが問われている。

災害から区民の命を守るかなめは、住宅の耐震化と不燃化だ。住宅の耐震化の促進や感震ブレイカーの普及などに一層取り組みを。

区が保育施設の整備を進めるとともに、保育士の処遇改善にも取り組んだことを評価する。今後、保育施設の整備を全力で進め、保育の質の確保にも尽力せよ。

高齢者を支える環境整備を推進すべし。特養ホーム増設と地域の介護基盤整備を確実に進め、介護士の処遇改善にも取り組みを。

アベノミクスにより、貧困と格差が広がっている。相対的貧困の実態調査や就学援助の増額、国保料の負担軽減策の拡充に取り組み。労働者の労働条件の向上などに向け、公契約条例を効果的に運用し、ブラック企業対策も強化せよ。地域包括ケアシステムや世田谷版ネウボロが十分機能するよう、保健師などの専門職を確保せよ。本庁舎整備では、区民理解を十分得るとともに、巨額の支出を見据えて計画的な財政運営を行え。仮称新三軒茶屋分庁舎の整備は、拙速に進めず議会で十分議論せよ。

区長は決断の先送りをやめよ

— 無所属・世田谷行革10番 —

(一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見)

27年度決算は、本庁舎整備など多額の財政負担を伴う案件を送りにし、その財源を基金に積み立てて意図的に財政黒字を演出したものだ。積み上げられた基金は区長の決断のおくれの証拠であり、基金を積み上げても、最優先すべき首都直下地震への万全の備えのために使わなければ意味がない。

また、区長は財政支出を削る決断も避けている。世田谷版の地域包括ケアシステムやネウボロの本格展開に必要な財源はどう確保するのか。保育園の運営経費も急増している。財政は、黒字化どころか危機的状況にあるのではないか。

さらに、区長は区長室で撮影したと思われる著書の宣伝映像の背景を隠し、問題のある部分は隠せばいいという安易な政治姿勢を露呈した。これは、区長の看板政策である情報公開と逆行している。よって一般会計決算に反対する。

区民目線に立つて区政を運営せよ

— せたがや希望の会 —

(全ての会計に賛成する意見)

仮称新三軒茶屋分庁舎の整備について、民間のビルの借り上げありきを進めるべきではない。また、整備目的を災害時の帰宅困難者対策などとしているが、区の考え方や効果は疑問だ。計画を見直せ。

世田谷版ネウボロでは、子育て利用券利用手引きにサービス提供事業者について、情報不足や区外事業者が多かったりと課題が多い。実施体制も含め抜本的に改善せよ。区営住宅などの指定管理者の変更の際には、居住者への影響が生じないよう丁寧な対応に努めよ。区の総合窓口の検討には理念がない。まちづくりセンターも含め、窓口サービスを抜本的に改善せよ。本庁舎整備では、耐震性や災害対策機能を最優先に考え、工工期

間を極力短縮できるよう工夫せよ。幼稚園や保育園などの担当部署を統一し、幼児教育の充実を図れ。外環道の東名以南延伸を求める。

持続可能な社会を区民と実現せよ

— 若者ネットワーク世田谷区議団 —

(全ての会計に賛成する意見)

子どもや高齢者、障がい者への施策を充実したことを評価する。障がい者差別の解消への実効性ある施策を展開せよ。世田谷版ネウボロを充実せよ。若者支援を強化せよ。望まない妊娠を避けるための性と性の教育など人権教育を充実せよ。保育士の処遇改善を進めよ。介護基盤を充実せよ。自然エネルギーへの転換を区民と進めよ。

本庁舎整備では現庁舎の文化的価値を十分認識せよ。区内で暮らす東日本大震災被災者への丁寧な対応を求める。東京大会に向け持続可能な社会づくりを進めよ。

障害者雇用などの先駆的な展開を

— 減税せたがや —

(全ての会計に賛成する意見)

区民の他自治体へのふるさと納税による43億円もの流出を踏まえ、早急に対策を行え。誰もが心豊かに希望の持てる社会の実現に向け、障害者雇用の促進とセーフティネットの充実に取り組み。職員が一丸となり、全国の自治体をリードする気概を持って区政を進めよ。

高齢者も外出しやすい街づくりを

— レインボー世田谷 —

(全ての会計に賛成する意見)

長時間歩くことが難しい高齢者の増加を踏まえ、区道などへのベンチ設置に福祉部門と都市整備部門が連携して取り組み。区道沿いの民有地にある崖や擁壁の危険箇所を至急再点検せよ。性的マイノリティーの居場所づくりや働きやすい環境づくりなどを進めよ。

健やかに暮らせるまちを目指せ

— せたがや子育てプロジェクト —

(全ての会計に賛成する意見)

誰もが健やかに暮らせる基盤の整備が重要だ。保育施設を増設し、非常勤職員を含めた職員の処遇改善を図れ。民有地を活用した特養ホームの整備推進に努めよ。区の交流自治体と区内産業の連携強化を図れ。良好な住環境の為に無電柱化と、狹隘道路拡幅を進めよ。

区民の快適な暮らしを支援せよ

— 世田谷無所属 —

(全ての会計に賛成する意見)

図書館は、図書館力ウンター・滞在型図書館・電子図書館といった機能別に整備を進めよ。下北沢などの図書館の利用が不便な地域に図書館力ウンターを作れ。改築予定の梅丘図書館を滞在型図書館として整備せよ。区立校の自転車安全教育で習熟度チェックを行え。

時代のニーズに的確に答えよ

— 無所属 —

(全ての会計に賛成する意見)

高齢者が住みなれた地域で心身ともに健康な生活を送れる社会を構築すべし。ふえ続ける認知症高齢者への支援強化や介護予防の充実に取り組み。行政に求められている役割の変化をしっかりと見きわめ、前例にとらわれない柔軟な発想で29年度予算を編成せよ。

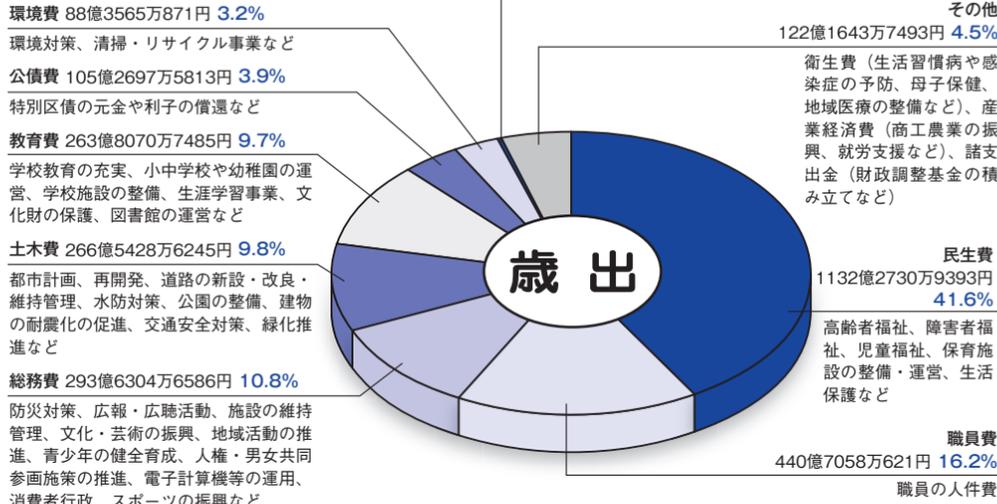
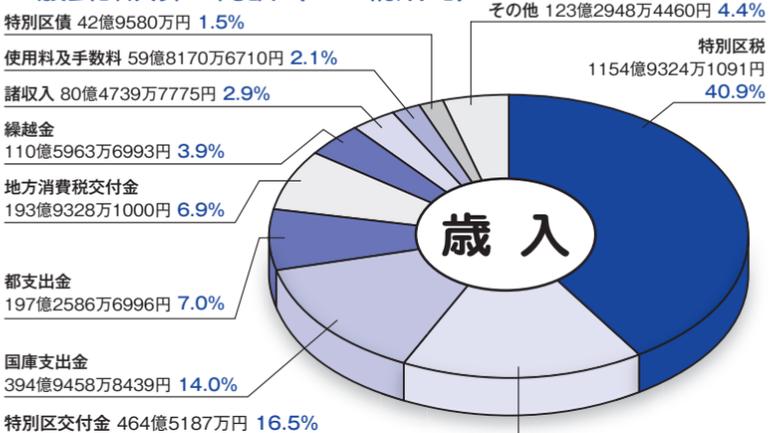


パンバリー市小学生親善訪問団の
議会表敬訪問

平成27年度各会計決算額

	歳入決算額	対前年度比伸び率	歳出決算額	対前年度比伸び率	歳入歳出差引額
一般会計	2822億7287万3464円	5.5%	2720億9213万694円	6.1%	101億8074万2770円
特別会計					
国民健康保険事業会計	960億2863万1363円	17.2%	954億5582万1130円	18.0%	5億7281万233円
後期高齢者医療会計	194億6985万5601円	-0.8%	185億916万9949円	-1.6%	9億6068万5652円
介護保険事業会計	583億9373万323円	4.8%	580億4313万3712円	4.7%	3億5059万6611円
中学校給食費会計	1億5230万1543円	14.2%	1億5044万7078円	14.5%	185万4465円
計	4563億1739万2294円	7.4%	4442億5070万2563円	7.9%	120億6668万9731円

一般会計決算の内訳 (% = 構成比)



※構成比 (%) は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないものがあります。

